

# 「好き」は 仕事を生きがいにする 変え



## 仕事に熱中できる「フロー」という状態

生きがいの形は人それぞれで、プライベートに大きな価値を置く人もいれば、仕事を喜びとする人もいます。共通して言えるのは、人生の多くは働く時間で占められているということ。だからこそ働く時間も楽しく過ごしたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。

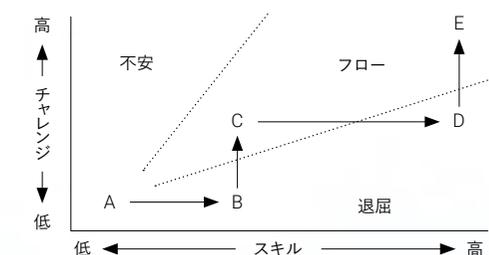
仕事を楽しく感じるには、まずスキルが欠かせませんが、チャレンジ精神も必要です。プロの料理人を志した人が、最初は野菜を切るだけでやりがいを感じたとしても、次第に退屈を覚えるようになるからです。そのうち魚もさばきたくなり、味付けもしたくなり、やがてはオリジナル料理をつくりたくなります。

スキルとチャレンジ精神が両翼となり、どんどんステップアップしていく時、人は時間の経過も忘れるほど仕事に熱中し、その結果、充足感に満たされ、また仕事に熱中するという良い循環が生まれます。ポジティブ心理学研究の第一人者ミハイ・チクセントミハイは、この循環が続く状態を「フロー」と呼びました。

「好きこそ物の上手なれ」と言うように、一人ひとりの「好き」は、フローの入口になります。本当に好きなものであれば、その深い愛情や探求心が、スキルを向上させ、チャレンジ精神を高めるはず。熱烈なK-POPファンが「YouTubeを見ているだけでハンゲルを習得した」といった例はよくあることです。

こんなことを言うと、「好きなことと仕事は別」という価値観を持ち出されることもあるかもしれません。しかし今は、テクノロジーの進化やダイバーシティという考え方が個をエンパワーする時代。自分らしさが輝く可能性は大きく広がっています。一歩踏み出すだけで、仕事は生きがいになるかもしれません。

## 「フロー」を図で解説すると



チクセントミハイ著の「フロー体験とグッドビジネス 仕事と生きがい」(世界思想社)より。左から右へスキルが向上し、下から上へチャレンジが進むにつれて、「退屈」と「不安」が克服される。仕事楽しくなり、達成感が得られるとともに、より高いレベルへと進んでいく。

## イベントではお客さまと 一緒になって感動しちゃいました！

### 「ずっとまよ」のエポスカードが登場

ボーカルのACAね(あかね)を中心に結成された音楽バンド「ずっと真夜中でいいのに。」(通称：ずっとまよ)。その活動5周年を記念して「ずっと真夜中でいいのに。エポスカード」を発行しました。

アニバーサリーをさらに盛り上げる取り組みの一環として、丸井ではマルイウェブチャネルでのコラボグッズ販売や店舗でのイベントなども実施。「ずっとまよ」ファンの注目度が高く、発行開始初日の新規カード入会数はエポス史上過去最高を記録。「人生初のクレジットカードにします」「高校卒業したら絶対つくります」など熱量の高い反響をいただいています。



ずっと真夜中でいいのに。エポスカード  
©ZUTOMAYO

音楽フェスでのパフォーマンスが忘れられませんとある音楽フェスで「ずっとまよ」のライブパフォーマンスを観た時に、そのクオリティの高さと圧倒的な存在感に惹かれ、今ではファンクラブに入っているほど大好きです。ライブでは、パフォーマンスやステージのセット、演出の一つひとつに感動してしまいます。何より、その感動をファン同士で分かち合う時間が楽しいんです！

好きなアーティストとのコラボ企画に携わり、カードやコラボグッズのデザイン、入会特典などを企画する時は、「自分ならどんなものがほしいかな?」とファン目線で考えることを最大限意識していました。ファンの方たちから好意的な反応いただけた時は、大きな達成感を感じられて、とてもうれしかったです。

中井 詩乃 | SHINO NAKAI  
2013年丸井グループ入社  
(株)エポスカード 営業推進部

ずっと真夜中でいいのに。が好き！

## 自分の「好き」という気持ちを信じて、 自然とアイデアがわいてくるんです

### オリジナルデザインのカードが話題に

大人気のキャラクター「ちいかわ」「ムーミン」とコラボしたエポスカードが、それぞれ2021年と2023年に誕生しました。「ちいかわエポスカード」は、作者ナガノ先生が描き下ろしたオリジナルデザイン券面(「おかいもの検定」)も登場し、X(旧Twitter)では関連ワードがトレンド入り。多くのファンの方にお買物を楽しんでいただいています。

海外キャラクターとの初コラボである「ムーミン エポスカード」は、長く愛されている作品の世界観を大切にデザインしています。どちらのカードも多数のちいかわファン、ムーミンファンのお客さまにご入会いただいている人気のコラボカードです。

### 作品が大好きで、友人とよく語り合っています

昔から「ナガノのくま」や「もぐらコロケ」などナガノ先生の作品が大好きで、友人とよく語り合っていました。初めは「ちいかわ」も、外見のかわいさから好きになったのですが、だんだんと漫画のストーリーの奥深さの虜になっていきました。ちいかわたちのリアルな感情表現に共感したり、展開を考察したりするのが楽しいです。

好きだからこそ、アイデアがファンに受け入れてもらえるのか不安になることもありましたが、自分の「好き」という気持ちを信じて、作品やキャラクターの魅力を最大限活かす特典グッズを考えました。カード発行時にはSNSで大きな反響があり、とてもうれしかったです。次に担当した「ムーミン エポスカード」がご好評いただけたのも、「ファンの気持ちに寄り添い、作品の世界観を大切にすること」を一番に心がけていたからだだと思います。

ちいかわ、  
ムーミンが好き！

水科 侑子 | YUKO MIZUSHINA  
2012年丸井グループ入社  
(株)エポスカード 営業推進部



ちいかわ  
エポスカード  
「おかいもの検定」  
©nagano



ムーミン  
エポスカード  
「ムーミン(グリーン)」  
©Moomin Characters™

## 韓国コスメは自分を輝かせてくれる お客さまのしあわせにもつなげていきたいです

### 韓国コスメとの出会いの場「KOREAJU」

2021年に韓国コスメのセレクトショップKOREAJU(コリアージュ)が新規事業として立ち上がりました。KOREAJUでは、お客さまがECサイトと店舗イベントの両方で韓国コスメを気軽に試すことができ、楽しみながら新しいコスメと出会える場の提供をめざしています。

最近では、さらに新しいお客さまを増やすため、K-POPアイドルのDKBやJUST Bとコラボした企画を開催しました。お客さまから「推しとの交流の場を初めて体験できたし、韓国コスメを使うきっかけになった」とうれしいお声をいただきました。

今後もさまざまなイベントを企画し、お客さまの体験価値の向上に努めていきます。



KOREAJU公式ECサイト

### 一人でも多くのお客さまに魅力を伝えたい

20代から友人と韓国旅行を楽しんでいて、そこからK-POPに興味を持ち、好きなアイドルが使っているコスメを試すようになりました。それ以来、韓国コスメの魅力にどっぷりハマっています。韓国コスメはトレンドの入れ替わりが早いですが、好きだからこそ意欲的に知識を増やしていくことができますし、それがお客さまに喜んでいただける接客につながっていると思います。自分に合ったメイク方法やスキンケア方法も習得しているので、お客さまの悩みに寄り添った接客ができていますと実感しています。

今はイベントのため約2週間単位でお店をまわる日々です。体力的に大変な時もありますが、自分が好きな韓国コスメの魅力を一人でも多くの方に知っていただきたいという気持ちで乗り越えています。

# 韓国コスメが 好き!



(左から)KAHI マルチバーム、MERZY The Watery Dew Tint、dasique シャドウパレット



五辺 香織 | KAORI GOBE  
2005年丸井グループ入社  
(株)丸井 EC事業部

## ドーナツ愛あふれる仲間とだからこそ、 実現できました

### ドーナツ探求家が厳選! ポップアップイベント

2023年6月、新宿マルイ本館のコンセプトショップでポップアップイベント「溝呂木一美のドーナツの世界」を開催。年間500種類以上のドーナツを食べる溝呂木さんが厳選した7店のドーナツショップが集結しました。より多くの方にドーナツの魅力を知ってほしいという思いから、小麦や天然酵母にこだわった生地のもや、卵・乳不使用のアレルギーフリーのものなど、さまざまな種類のドーナツを取り揃えました。イベントでは、多くのお客さまが、おいしいドーナツとの新しい出会いを楽しんでいました。



多種類のおいしいドーナツが並ぶイベント

### 「好き」な想いは、仕事の熱量を高めてくれます

私はもともと「食」が好きで、学生時代は食物栄養学を勉強していました。テレビ番組で溝呂木さんがドーナツ愛を語っているのを見ておもしろいなと思っていたら、丸井グループの社員であることを知り驚きました。すぐに声をかけて、イベントの企画がスタートしました。

ドーナツ愛あふれる溝呂木さんと共に仕事をするうちに、どんどんドーナツの魅力にハマリ、「絶対に実現しよう」という思いが強くなりました。イベントは無事成功し、溝呂木さんから「自分の『好き』がイベントとして実現できてうれしい」と言ってもらえた時は、私自身もしあわせな気持ちになりました。現在は「食」をキーワードにイベント開発をしていますが、ほかの 카테고리でも自分の「好き」を活かしていきたいです。

# ドーナツが 好き!

### 溝呂木 一美 | HITOMI MIZOROGI

ドーナツ探求家  
2007年丸井グループ入社  
(株)エイムクリエイツ  
空間プロデュース事業本部  
イラストレーター  
ベーカリーやカフェ、コンビニやスーパーなどをリサーチし、年間500種類以上のドーナツを食べる。テレビやラジオなど多数のメディアでドーナツの魅力を発信している。著書に『ドーナツの旅』(グラフィック社)など。



指田 彩芽 | AYAME SASHIDA  
2006年丸井グループ入社  
(株)丸井 開発イベント部